

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		終末期の対応ができていない。	入居者のレベル低下に伴い、住み慣れた場所で安心して終末期を迎えることができるように、看取り介護についての体制を構築する。	看取り介護についてのマニュアル作成、スタッフ間での周知徹底。勉強会の実施共有を行い、家族への説明同意。多職種連携におけるプランニングにおいて、終末期対応が実施できる体制を整えていく。	6ヶ月
2		消防訓練における地域住民への協力要請が、不十分である。	地域密着型サービスとして、地域住民との繋がりを強め、火災発生時等必要の際に協力を仰ぐことのできる関係性を築く。	前年度目標であった運営推進会議への民生委員参加が今年度より達成されたことから、当該会議を経て地域住民への説明、要請依頼書の配布を行う。要請依頼書については当所で作成し、会議での検討を踏まえた上での配布とする。	6ヶ月
3		新型コロナウイルス感染症により様々なイベントの中止を余儀なくされている。	現状を踏まえた上で、これまでのイベントに変わる楽しみや刺激の創出を図る。	通常のレクリエーションだけでなく、スタッフが知恵を絞り、密を避ける等の感染対策を遵守した上でのイベント企画、実施を計画する。(例)夏祭りや運動会等の季節に応じたレクリエーション、特別な飲食物、その他創作活動等々。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。